

「新しい多摩の振興プラン」の概要

～サステナブル・リカバリー 多摩のさらなる発展に向けて～

1 策定の意義（背景）

- 「多摩の振興プラン（2017年9月）」に基づき、これまで様々な取組を着実に推進
- コロナ禍でデジタルシフトが加速するなど、社会の大きな変化・変革が進行
- 地球温暖化の影響により、自然災害が激甚化（令和元年東日本台風など）
- 少子高齢化、道路・交通インフラの充実、産業振興など、多摩の地域ごとに諸課題が存在
- 「『未来の東京』戦略（2021年3月）」の策定

新しい多摩の振興プランを策定

- **社会経済状況の大きな変化を踏まえ、「『未来の東京』戦略」で示された「3か年のアクションプラン」や各局の計画等に基づき、3か年で都が実施する取組を中心に、その方向性や具体的な取組を多摩に特化した視点で取りまとめて、提示**
- 都の取組は、都が自ら実施する事業、市町村・民間等の取組を促進するための支援策を記載
- 多摩地域は、地勢、人口動向、土地利用、産業構造など、地域によって特性や課題は様々であることから、地域ごとの実情を把握・整理

2 「多摩の振興プラン」における主な取組状況（2017～2020年度）

➤ 安全・安心で、誰もが暮らしやすいまちづくり

- ・都営多摩ニュータウン永山三丁目団地の竣工
- ・東京都ひとり親家庭支援センター「はあと多摩」の開設
- ・梅ヶ谷トンネル（山間部道路の整備）の本体工事に着手し実施中



【梅ヶ谷トンネルの整備状況】

➤ 道路・交通ネットワークの充実強化

- ・調布保谷線・東八道路の一部区間を4車線で交通開放
- ・連続立体交差事業（西武新宿線・東村山駅付近）の推進



【調布保谷線（三鷹3・2・6）の整備状況】

➤ 地域資源を生かした産業振興、地域で働くことができるまちづくり

- ・東京都立多摩産業交流センターの整備に係る工事に着手し実施中
- ・TOKYO創業ステーションTAMAの開設
- ・多摩地域雇用就業支援拠点（仮称）の整備に係る工事に着手し実施中



【東京都立多摩産業交流センターの完成イメージ】

➤ 文化・スポーツの振興、教育の充実

- ・小中高一貫教育校の設置に向けた工事に着手し実施中
- ・東京都多摩障害者スポーツセンターの改修工事の完了



【東京都多摩障害者スポーツセンター体育館照明のLED化】

➤ 豊かな自然との共生、環境に優しいまちづくり

- ・中小河川の水辺空間の緑化の推進
- ・水素ステーション（八王子市・多摩市）に対して補助を実施



【大栗川の緑化の推進】

3 多摩を取り巻く状況

人口減少・少子高齢化

- 2020年(約428万人)をピークに人口減少に転じる見込み
- 2040年には高齢化率が32.4%まで上昇する見込み

コロナ禍を踏まえた企業移転や転居の考え方

- 多摩地域が本社事業所の移転先の候補の1つ
- 完全にテレワークでの勤務が可能となった場合、東京圏在住の約4割が転居に関心
(国土交通省アンケートより)

道路・交通ネットワーク

- 多摩地域の都市計画道路の完成率:62.0%(2020年)
- 公共交通へのアクセスが不便な地域が見られる

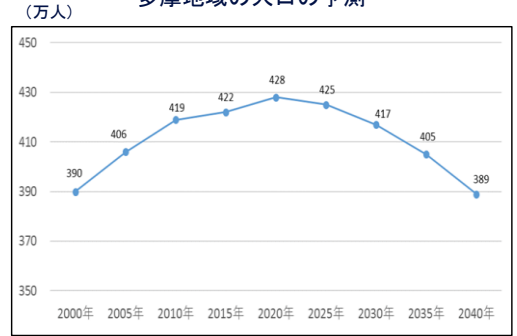
産業

- 製造品出荷額等は都全体の約6割(約4兆2千億円(2019年))
- 大規模工場が撤退する一方、物流拠点や企業の研究機関などが進出

自然・環境

- 身近な自然が豊富にあるが、農地や樹林地が減少傾向
(みどり率:2013年68.4%→2018年67.8%)

多摩地域の人口の予測



資料:「東京都の人口予測」(東京都総務局)2020年3月 等より作成

多摩地域の都市計画道路の状況(2020年3月)

	計画延長(km)	完成延長(km)	完成率(%)
西多摩	193.9	139.8	72.1
南多摩	537.9	386.8	71.9
北多摩西部	219.3	117.6	53.7
北多摩南部	279.0	163.7	58.7
北多摩北部	197.5	77.3	39.2
多摩地域	1,430.5	886.2	62.0

※都県境も含めた値であり、各項目の合計値と合致しない

資料:「都市計画現況調査」(国土交通省)より作成

4 多摩地域の概況(エリア別の特性)

西多摩エリア

(青梅、福生、羽村、あきる野、瑞穂、日の出、檜原、奥多摩)

- ✓ 広大な森林、山岳、清流、里山風景などの豊かな自然に恵まれているほか、製造品出荷額等が多摩地域内で最も多い
- ✓ 既に人口減少が始まっており、今後も減少が続くと見込まれる

北多摩北部エリア

(小平、東村山、清瀬、東久留米、西東京)

- ✓ 玉川上水や八国山緑地などの豊かな自然環境が広がり、武蔵野の面影を残している
- ✓ 都市計画道路の整備を進めているが、完成率が低い

北多摩西部エリア

(立川、昭島、国分寺、国立、東大和、武蔵村山)

- ✓ 交通の要所の立川駅のほか多摩地域の創業・産業支援の拠点がある
- ✓ エリア北部に鉄道駅がない地域がある

北多摩南部エリア

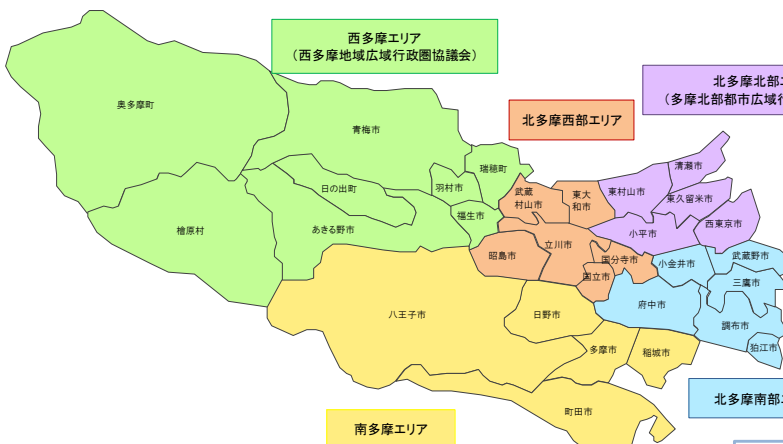
(武蔵野、三鷹、府中、調布、小金井、狛江)

- ✓ 都心へのアクセスが良く、生産年齢人口が増え保育サービスの利用児童数が大きく増加している
- ✓ 都市化の影響や後継者の不足などにより、生産緑地面積が減少傾向にある

南多摩エリア

(八王子、町田、日野、多摩、稲城)

- ✓ 圏央道のICがあるほか、近隣にリニア中央新幹線の新駅の開設を予定している
- ✓ 高齢者人口が多摩地域内で最も多く、出生数も減少傾向にある



5 取組の基本方針と方向性

取組の基本方針

それぞれの地域の特色を活かし、賑わいと活力に満ち溢れ豊かな自然と都市機能が調和したより良い多摩を、サステナブル・リカバリーの視点を持って都と市町村でつくりあげる

取組の方向性

2つの方向性により、多摩の更なる発展を目指した6つのカテゴリーの取組を推進

方向性 1

新型コロナの危機を乗り越え大きな社会の変化・変革を多摩地域の更なる発展のチャンスへ

方向性 2

多摩地域それぞれの特性や課題に応じて多様なポテンシャルを伸ばすとともに様々な課題を解決

取組の区分

- ① 新しい働き方が浸透し、誰もが輝き、暮らしやすいまち
- ② 安全・安心な暮らしを守るまち
- ③ 道路・交通ネットワークが充実し、地域特性に応じた快適なまち
- ④ 地域資源と先端技術を活かし、スマートな産業が確立されたまち
- ⑤ 豊かな自然と都市機能が調和し、環境に優しいまち
- ⑥ 地域が持つ資源に磨きをかけ、人を惹きつけるまち

6 多摩地域の更なる発展を目指した取組

① 新しい働き方が浸透し、誰もが輝き、暮らしやすいまち

- サテライトオフィス設置補助などにより、**多摩地域でのテレワーク**を普及促進
- 高齢者の暮らしの安心に向け、公的住宅を活用した居場所づくりや**自動運転車両による移動支援**の取組を展開
- 待機児童解消区市町村支援事業など、**保育サービスの拡充**に向けた市町村の取組を広く支援
- 多摩地域でも**体験型英語学習施設**を整備し、グローバルに活躍する人材を育成



② 安全・安心な暮らしを守るまち

- 災害時に孤立が想定される地域に**ドローンを活用した物資輸送体制**を構築
- 中小河川における護岸や調節池の整備など、**豪雨災害への対策**を推進
- 災害時の円滑な対応につなげるため、都道及び市区町村道の**無電柱化**を促進
- **多摩メディカル・キャンパス整備**事業などにより、多摩地域全体の医療水準を向上



③ 道路・交通ネットワークが充実し、地域特性に応じた快適なまち

- **多摩南北・東西道路**や**南多摩尾根幹線**などの整備を推進
- **箱根ヶ崎方面への多摩都市モノレールの延伸**の事業化に向けた現況調査及び基本設計等を実施
- トンネルや橋梁などの予防保全型管理により、**都市インフラの長寿命化**を推進
- 大規模団地の順次建替えなど、**多摩ニュータウンの再生**



④ 地域資源と先端技術を活かし、スマートな産業が確立されたまち

- **東京都立多摩産業交流センター**を整備するなど、都域を超えた広域的な交流によるイノベーションを創出
- IoTやAI等の先端技術を活用した**東京型スマート農業**を推進し、稼ぐ農業を実現
- キャッシュレス化やデジタルスタンプカードアプリ開発など、**商店街のスマート化**に資する取組を支援
- 東京及び首都圏の物流機能を支える、**物流拠点**の整備に向けた関係市の取組を支援



⑤ 豊かな自然と都市機能が調和し、環境に優しいまち

- 生産緑地買取申出等に対応する市区に対し補助を行い、**生産緑地を公園緑地として活用**
- ZEV導入の促進や、多摩地域で**再エネシェアリング**モデル事業を実施・運用
- 重要な自然地を選定し、**保全地域として指定拡大・公有化**を促進
- 自然豊かな多摩河川の清流や水辺空間を活かし、**水辺のにぎわい**を創出



⑥ 地域が持つ資源に磨きをかけ、人を惹きつけるまち

- 多摩地域において、**観光型MaaS**の実装に向けた取組を推進
- **滞在型旅行（ロングステイ）**に係る多摩地域の新たな取組を支援
- 気軽に参加、体験できる**スポーツイベント**の開催や、誰もが楽しむことができるスポーツの普及を推進
- **伝統文化・芸能の魅力を発信**するフェスティバルの開催や、郷土芸能を発信する民間の取組を支援



7 本プランの実現に向けて

- ✓ 今後、人口減少・少子高齢化や「新しい日常」を前提とした社会の大きな変化・変革を受け入れながら、これまで以上に、創意工夫を凝らして取組を進めることが必要
- ✓ 都が多摩振興に資する事業を着実に進めることに加え、地域の実情に精通した市町村との緊密な連携や、市町村間の広域連携等による取組が重要

○ 都と市町村との連携

市町村への行財政支援

各種補助金・交付金(市町村総合交付金など)、市町村への人的支援、まちづくり施策の推進への支援など

○ 市町村間での広域的な連携

取組内容に応じた市町村間の柔軟な連携が円滑に展開されるよう、引き続き、都として必要な支援を実施
＜連携事例＞多摩川流域連携会議、広域連携サミット、魅力向上プロジェクト、広域行政圏協議会など

8 SDGsの推進

- ✓ 持続可能な社会の実現に向けて、多摩地域の振興においても、都、市町村、地域住民や事業者など、多様な主体が連携・協働して、国際目標であるSDGsの取組を推進していくことが重要
- ✓ 本プランで掲げる各取組についてもSDGsの17のゴールに紐づけ、SDGsを意識しながら都と市町村等が緊密に連携して共に取組を推進

